



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ソフィアホールディングス
 コード番号 6942 URL <http://www.sophia.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新村 直樹
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 ゼネラルマネージャー (氏名) 浅野 茂雄

TEL 03-6265-3339

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	2,937	14.0	120	—	107	—	29	—
28年3月期第3四半期	2,576	△13.4	△133	—	△142	—	△57	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 28百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △64百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	1.34	—
28年3月期第3四半期	△2.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	2,884	67	1.7	2.22
28年3月期	2,315	39	0.9	0.93

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 48百万円 28年3月期 20百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに決算実績及び事業の概況をタイムリーに開示することにつとめ、業績予想の開示を控えさせていただきます。

なお、今後業績予想が可能になりました段階で改めて公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	22,377,200 株	28年3月期	22,377,200 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	485,230 株	28年3月期	484,412 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	21,892,645 株	28年3月期3Q	21,893,365 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策を背景に、雇用・所得環境の改善が続くなかで緩やかな回復基調が続いているものの、米国の大統領選挙による影響等から、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、成長戦略事業として位置づける健康医療介護情報サービスの顧客基盤構築と製品開発を継続して推進しております。また通信事業、インターネット関連事業において売上を堅調に積み上げております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が2,937百万円(前年同四半期比14.0%増)となりました。損益面は、営業利益120百万円(前年同四半期は営業損失133百万円)、経常利益107百万円(前年同四半期は経常損失142百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益29百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失57百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[インターネット関連事業]

インターネット関連のシステム開発及び運営支援、業務コンサルティング、データセンターの運用・保守等を行い、売上高は1,461百万円(前年同四半期は1,459百万円)となりました。

[ECサイト関連事業]

インターネット通信販売等を行い、売上高は6百万円(前年同四半期は345百万円)となりました。

[健康医療介護情報サービス事業]

医療情報管理ソフトウェア及び薬剤管理指導業務システムの開発・保守サービス、販売等を行い、売上高は178百万円(前年同四半期は209百万円)となりました。

[遺伝子情報サービス事業]

遺伝子解析キットの販売及び遺伝子情報の解析等を行い、売上高は47百万円(前年同四半期は45百万円)となりました。

[通信事業]

情報通信サービス全般等の企画、開発、製造、販売を行い、売上高は1,260百万円(前年同四半期は539百万円)となりました。

[海外事業]

東アジア圏におけるIT事業の情報収集等を行い、グループ各社に対して事業機会の情報提供、ビジネスの仲介業務等を行い、売上高0百万円(前年同四半期は0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ569百万円増加し、2,884百万円となりました。これは現金及び預金の増加392百万円、受取手形及び売掛金の増加203百万円等によるものであります。

負債につきましては前連結会計年度末に比べ541百万円増加し、2,816百万円となりました。これは預り金の増加447百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ28百万円増加し、自己資本比率は1.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに決算実績及び事業の概況をタイムリーに開示することにつとめ、業績予想の開示を控えさせていただいております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)
法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。
なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。
- (4) 追加情報
(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失(161百万円)及び親会社株主に帰属する当期純損失(567百万円)を計上し、平成24年3月期より5期連続で営業損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該状況を解消すべく下記の対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

- ・セキュリティ・コストなどクラウドシステム導入に際する課題を解決した当社グループのクラウドソリューションを、株式会社ナノメディカル・株式会社メディカルコンピューターサービスの顧客である病院・クリニックへ積極的に販売し、売上を拡大してまいります。
- ・強い販売網を持ったビジネスパートナーと販売委託契約を締結し、売上を獲得してまいります。
- ・グループを横断した基幹システムの導入・効率的な組織体制の構築・役員報酬や人件費の圧縮等により、継続的なコスト削減等を行います。
- ・資金面につきましては、当面の運転資金は確保できておりますが、新たな資金調達(事業売却、デットファイナンス、エクイティファイナンス等)も視野に入れて検討しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,407,038	1,799,873
受取手形及び売掛金	327,270	530,882
商品及び製品	4,396	6,361
仕掛品	—	4,213
原材料及び貯蔵品	1,122	—
その他	117,050	144,615
貸倒引当金	△13,754	△17,918
流動資産合計	1,843,124	2,468,028
固定資産		
有形固定資産	97,557	102,780
無形固定資産		
のれん	238,147	213,487
その他	74,697	56,632
無形固定資産合計	312,845	270,120
投資その他の資産		
投資有価証券	7,807	—
敷金及び保証金	39,918	37,717
その他	188,574	53,376
貸倒引当金	△174,802	△47,695
投資その他の資産合計	61,498	43,399
固定資産合計	471,901	416,299
資産合計	2,315,025	2,884,328

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	374,049	411,651
短期借入金	740,000	570,000
1年内返済予定の長期借入金	119,029	102,639
未払金	101,077	128,298
未払法人税等	45,496	33,144
資産除去債務	2,000	—
預り金	495,892	943,493
その他	118,504	164,489
流動負債合計	1,996,050	2,353,717
固定負債		
長期借入金	231,744	437,148
その他	47,575	25,622
固定負債合計	279,320	462,771
負債合計	2,275,370	2,816,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	402,886	402,886
利益剰余金	△2,422,550	△2,393,235
自己株式	△61,392	△61,521
株主資本合計	26,944	56,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	307	—
為替換算調整勘定	△6,888	△7,581
その他の包括利益累計額合計	△6,581	△7,581
新株予約権	19,292	19,292
純資産合計	39,654	67,839
負債純資産合計	2,315,025	2,884,328

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）
売上高	2,576,296	2,937,591
売上原価	1,749,211	2,118,756
売上総利益	827,085	818,835
返品調整引当金戻入額	711	—
返品調整引当金繰入額	581	—
差引売上総利益	827,215	818,835
販売費及び一般管理費	960,274	698,678
営業利益又は営業損失（△）	△133,058	120,156
営業外収益		
受取利息	965	187
受取配当金	5,490	144
貸倒引当金戻入額	1,622	2,119
その他	1,227	1,202
営業外収益合計	9,305	3,654
営業外費用		
支払利息	16,364	16,239
その他	2,148	142
営業外費用合計	18,512	16,382
経常利益又は経常損失（△）	△142,265	107,428
特別利益		
投資有価証券売却益	10,030	402
保険解約返戻金	16,226	—
新株予約権戻入益	14,840	—
受取和解金	2,776	—
資産除去債務戻入益	3,922	—
関係会社売却益	58,055	—
特別利益合計	105,851	402
特別損失		
固定資産除却損	441	9,241
リース解約損	1,966	—
減損損失	2,148	730
和解金	18,360	34,466
特別損失合計	22,917	44,437
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△59,331	63,392
法人税、住民税及び事業税	13,556	37,516
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	△10,651	—
法人税等調整額	2,101	△3,438
法人税等合計	5,006	34,078
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△64,337	29,314
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△7,203	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△57,133	29,314

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△64,337	29,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	△307
為替換算調整勘定	△80	△692
その他の包括利益合計	△101	△999
四半期包括利益	△64,438	28,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△57,235	28,315
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,203	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	インターネット 関連事業	ECサイト 関連事業	健康医療介護 情報サービス 事業	遺伝子情報 サービス事業	通信事業	海外事業	計
売上高							
外部顧客への売上高	1,437,818	345,319	209,235	45,727	538,195	—	2,576,296
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,822	—	—	—	930	282	23,035
計	1,459,641	345,319	209,235	45,727	539,125	282	2,599,332
セグメント利益又は 損失(△)	79,463	△16,053	△72,871	△95,233	58,349	△198	△46,544

(注) 1. 「ECサイト関連事業」については、本事業の主体であった株式会社サルースの全株式を平成27年6月30日付で売却したため、第1四半期連結会計期間末において連結の範囲から除外しておりますが、売却日までの損益計算書を連結しております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ECサイト関連事業」におけるセグメント資産が、360,093千円減少しております。

2. 第1四半期連結会計期間において、株式会社メディカルコンピューターサービス及びエリアビイジャパン株式会社を連結子会社化いたしました。これに伴い、「健康医療介護情報サービス事業」の報告セグメントに含めております。

3. 第2四半期連結会計期間において、株式会社サイバービジョンホスティングを連結子会社化いたしました。これに伴い、「インターネット関連事業」の報告セグメントに含めております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△46,544
セグメント間取引消去	△7,448
全社損益(注)	△79,066
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△133,058

(注) 全社損益は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	インターネット 関連事業	ECサイト 関連事業	健康医療介護 情報サービス 事業	遺伝子情報 サービス事業	通信事業	海外事業	計
売上高							
外部顧客への売上高	1,444,029	6,235	178,534	47,873	1,260,918	—	2,937,591
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,178	—	—	—	—	990	18,168
計	1,461,207	6,235	178,534	47,873	1,260,918	990	2,955,759
セグメント利益又は 損失(△)	111,204	△3,693	△57,952	△39,851	186,588	597	196,892

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	196,892
セグメント間取引消去	△1,695
全社損益(注)	△75,040
四半期連結損益計算書の営業利益	120,156

(注) 全社損益は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。